



2019年7月2日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平  
(コード8739 東証第一部)

**「未来創生 2号ファンド」**  
**建設現場と職人のマッチングアプリを提供する株式会社助太刀への投資実行**  
— 建設現場を魅力ある職場にして建設産業を再定義する —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、建設現場と職人のマッチングアプリを提供する株式会社助太刀（本社：東京都渋谷区、CEO：我妻陽一。以下、助太刀社と表記）への投資を実行しましたのでお知らせします。

助太刀社は今回の調達資金を活用し、建設現場で働く皆さまの多岐にわたるニーズに合わせた機能開発および新サービスの拡充を進める予定です。

■ 投資先企業の概要

助太刀社は、建設現場と職人のマッチングアプリ「助太刀」を運営しています。また大手金融会社と提携し展開するフィンテック事業の「助太刀 Pay」を使えば、その日の工事代金を仕事が終わった時点で24時間365日受け取り申請ができ、即時受け取ることができます。さらに、その日の工事代金を即日チャージでき、利用できる Visa プリペイドカード「助太刀カード」を発行しています。助太刀カードには工作中における怪我を補償する傷害保険も付帯しています。

これらのサービスはすべて、煩雑な書類手続きは不要で、アプリ上からの操作でカンタンに利用することができます。

人気お笑いタレントを起用したTVコマーシャルを展開し、アプリのローンチ後約1年半で7万人のユーザー登録を獲得しています。

■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2019年5月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1,093億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101



[pr\\_media@sparxgroup.com](mailto:pr_media@sparxgroup.com)